

## 入札監視委員会等の審議概要について

令和4年度中国運輸局入札監視委員会及び発注者綱紀保持委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	令和4年11月7日 中国運輸局災害対策室（Web会議）	
委員	水中誠三（水中綜合法律事務所：弁護士） 木谷直俊（広島修道大学：名誉教授） 三井正信（広島大学大学院：教授）	
審議対象期間	前回報告分以降 ～ 令和4年8月末	
抽出案件	総件数 38 件	（備考）
一般競争入札	18 件	
指名競争入札	0 件	
企画競争	20 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

令和4年度中国運輸局入札監視委員会名簿  
令和4年度中国運輸局発注者綱紀保持委員会名簿

(構成:3名)

氏名	職業
水中 誠三	弁護士
木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
三井 正信	広島大学大学院 教授

令和4年度中国運輸局入札監視委員会  
令和4年度中国運輸局発注者綱紀保持委員会

質問	回答
<b>【公共調達にかかる契約について】</b>	
一般競争入札方式について	
一者応札が続いている案件について、随意契約の検討も考えられるが対応は如何。	一者応札が続いている案件について、まずは要因の分析を行ってまいります。入札は競争が生かされる手法ではありますが、案件によっては対応可能な事業者が限定されることも想定されるため、条件の緩和または随意契約への移行を含め、検討してまいります。
一者応札となっている案件の契約事業者が撤退し、応札事業者が存在しなくなった場合の対応は如何。	まずは同条件で対応可能な事業者が他に存在しないか調査を行い、同条件での応札可能事業者が見込まれない場合は仕様や入札条件の見直しを行っていくこととなると思われまます。
低落札率の案件があるが、低落札率となった理由は如何。	落札事業者に調査確認を行ったところ、営業努力により入札価格を低く設定できたとのことでした。なお、低入札調査を実施し、落札事業者の履行能力や体制等に問題がないことを確認しております。
低落札率となった要因は予定価格の定め方に問題があると思われるが、中国運輸局の予定価格の定め方は如何。	工事については公共工事の積算基準に基づき予定価格を定めています。また参考見積もりを取得し、比較も行ってまいります。 複写機賃貸借、保守関係では基本的に複数事業者の参考見積もりと物価資料に基づき、予定価格を定めております。
今年度電気需給契約が一社応札となった要因は如何。	二社が入札に参加しましたが、一社辞退という結果になりました。 電気料は昨年秋から高騰しており、採算性など踏まえた企業判断かと思われまます。
企画競争方式について	
コロナ収束を見据えて、多くの企画競争案件を予定していると思うが、各事業の費用対効果の確認や検証は如何。	プロモーション事業であるため費用対効果は測りづらいですが、コロナ禍で来日できない外国人に中国地方を忘れられないようアピールする観点では効果があったと報告を受けております。また、各事業の最後に提出される報告書によりKPIの達成状況の確認と、達成できていないものについては要因の分析を行っております。

<p>毎年多くのプロジェクトを実施しているが、重複した事業がないか精査確認は如何。</p>	<p>重複した事業が発生しないよう各課が連携し、過去実施した事業内容も確認しながら事業を進めております。</p>
<p>企画書を提出する事業者を増やすよう努力願いたい。</p>	<p>可能な限り公示期間を長めに設定したり、事業者と知り合う機会を増やす取組を行っております。今後も新規事業者の開拓等、引き続き努めてまいります。</p>
<p>抽象的なテーマだけではなく、酒・温泉等の具体的なテーマに絞って検討、研究を進めていく予定は如何。</p>	<p>他官署や地域と連携しながら、特定のテーマを対象とした事業について実施を検討してまいります。</p>
<p><b>【指名停止等の運用状況について】</b></p>	
<p>意見なし</p>	
<p><b>【中国運輸局発注者綱紀保持委員会関係規則について】</b></p>	
<p>意見なし</p>	

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。